

土砂災害

がけ崩れや、土石流が発生

土砂災害は、集中豪雨などの短時間の大雨や梅雨時の長雨などで、地中に多くの水がしみ込むと発生しやすくなります。土砂災害には「がけ崩れ」、「地滑り」、「土石流」などがあります。

がけ崩れの危険地を示す看板



市内には、土砂災害が予想される急傾斜地危険個所に指定されたところが三十一カ所あり、災害を防ぐため、斜面強化などが図られています。また、その指定個所を示す看板が立てられています。



斜面が強化された急傾斜地危険個所

【がけ崩れ】・・・
がけや造成地斜面の土砂が崩れることで、瞬時に崩れ落ちるので避けるべく危険です。

【地滑り】・・・
ゆるやかな斜面で、長雨などで水を含んだ粘土層などが動き出す現象です。広範囲に起き、大きな被害をもたらします。

【土石流】・・・
谷や斜面にたまった土や石などが、大量の水と一緒に流れ出すことです。破壊力が大きく、流れが速いため、大きな被害をもたらします。



こんな前ぶれがあったら避難の準備を

がけ崩れ

がけから小石がバラバラと落ちてくる



がけに割れ目ができる
がけから水がわき出てくる

地滑り

地面がひび割れたり、陥没、隆起したりする
井戸の水が濁る

池や沼の水量が急に化する

土石流

山全体がうなっているような音が出る
川の水が濁ったり、流木が流れてきたりする
雨が降り続けているのに、川の水が減ってくる

集中豪雨への備え

日ごろから避難場所を確認し、降り始めたら、雨量などの気象情報に注意しましょう

集中豪雨の被害を防ぐには、日ごろからの備えが大切です。最寄りの避難場所を確認して、家族で避難する道順などを決めておくほか、非常時の持ち出し品も袋などに入れて備えておきましょう。雨が降り始めたら、ラジオなどで雨量などの気象情報に注意しましょう。避難などについては、各地区市民センターや、FMよっかいち(76.8MHz)などで情報を確認してください。



コンテナ式の水防倉庫(山城町)
また、市では市内の各河川の堤防沿いの四十四カ所に水防倉庫を設けています。倉庫内にはスコップなど水防資材が備えてあり、堤防の水漏れなど緊急の水防作業に利用できるようになっています。